



枝璃貴子

クラシックギターを父富樫省三、京本輔矩氏に師事。声楽を加藤千恵氏、金内警子氏に師事。作詞作曲のオリジナル曲を始めとして幅広いジャンルの曲をレパートリーとしている。1990年に安田生命ホールでシンガーソングライターとしてコンサート活動を開始。全国の子守唄を集めたCD「日本の子守唄集大成」レコーディング。全国親子劇場の「子守唄の旅」のゲストとして日本各地でコンサートを展開した。また自身の数々の苦難を乗り越えた中から生まれてくる命・愛・自然・平和をテーマにした曲作りに取り組み、メッセージ性のあるコンサート活動が続いている。被災地支援のコンサート活動にも力を注いでいる。2014年3月に「石川啄木を歌う、詠う。」を富田祐一と2人で公演した。



富田祐一

岩手県出身。劇団「青年劇場」に所属。日本俳優連合・ドラマの方言を考える会世話人。主な舞台「かもめ」「桜の園」「ワーニャー伯父さん」「八月の鯨」「臨界幻想2011」等多数。《一人芝居》「早すぎた男～高野長英伝」「一閃の光芒～切支丹武士後藤寿庵」「戦艦武蔵の最期～下級兵士の見た沈没～」。ドラマの方言を考える会「ふるさとの言葉で語る公演～各地に伝わる民話や伝説、戦争の悲惨さや東日本大震災のこと」等々。2014年3月に「石川啄木を歌う、詠う。」を枝璃貴子と2人で公演した。



藤島昌治

1946年満州に生まれる。
1970年より福島県に在住。
1992年地域の大人と子どもの体験の場「きまぐれ大学」学長（任意団体）。
2011年3月11日東日本大震災による原発事故で新潟三条市に避難。同年10月末、南相馬市鹿島区仮設住宅入居、自治会長となる。以後仮設住宅で全国のボランティアに支えられ数々の催しを行う。

「仮設にて」

—— 朗読と歌 ——



枝璃貴子ギター弾き語りライブコンサート

詩集「仮設にて」藤島昌治より

ギター弾き語り 枝璃貴子

朗読 富田祐一

ご挨拶 藤島昌治

2014年11月7日